



高尾山のいきものたち

ヒゲナガオトシブミ

(オトシブミ科)



とても首が長い面白い昆虫。ヒゲナガオトシブミのオスは、四角い身体に胸から頭が細長く伸びていて、その先に眼と長い触覚がついている。体長は1cm程度で、光沢のある赤褐色や暗褐色をしている。平地から低山の森林などに生息し、5～7月頃によく葉の上に見られる。

オトシブミの仲間は、葉を巻いて切り、円筒状のゆりかごを作り、その中に卵を産む。その筒が巻紙の手紙に似ていて、それを地面に落とすので「落とし文」と呼ばれている。孵化した幼虫はその葉を食べて育ち、葉で隠れて天敵に見つからないので、ゆりかごに守られて成長する。森の木は、思いがけない方法で小さな生き物に恵みを与えている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

Ⅲ ちゃんの



NO.54

スギ (ヒノキ科)

スギは日本の固有種で、青森県から屋久島にかけて広く分布し、高尾山周辺にも多くのスギ人工林があります。日本の人工林の主要樹種として人工林面積の4割以上をスギが占めています。

また、長寿のスギは(千年を超える)、高さ50m、太さ2mにもなります。

スギは大きく分けて、太平洋側に生育している「表杉」と日本海側に生育する「裏杉」の二種類があります。

名前の由来は、「すくすく伸びる」とか「^す直ぐな木」であると言われています。学名には「隠れた日本の財産」という意味があります。

材質は、辺心材の境界は明瞭で、辺材は白色、心材の色の変異が大きく、淡紅色(アカジシ)から黒褐色(クロジシ)を帯びているものがあります。

木目は鮮明で通直、材はやや軽軟、比較的狂いは少なく、切削などの加工は容易で、水湿や虫に比較的強く、縦に細長く裂けます。

主な用途は、土木、建築(柱・板)、天井板、

^{みが}磨き丸太、家具、曲げ物、下駄など、実用品から高級品まで用途は広く、独特の芳香は酒樽や菓子箱、割り箸などに活かされ、葉は線香、樹皮は屋根ふきや造園の材料となり、古くは造船や電柱に使われていました。

スギは一度では紹介しきれないので、次回は日本各地にあるブランドスギについて取り上げたいと思います。(Ⅲ)



まっすぐ伸びています



花粉を出す雄花



きれいな木目

「親子森林探検とクラフトづくり」

- 開催日時:令和2年8月2日(日) 10:00~15:00
- 集合解散場所:八王子市 高尾山国有林 日影沢キャンプ場
(JR中央線・京王高尾線の高尾駅北口から、京王バス「小仏」行きに乗車し「日影」バス停で下車。案内係の職員と徒歩で約10分)
- 内容:「親子森林探検とクラフトづくり」を実施します。※内容については変更する場合があります。
・森林探検(日影沢キャンプ場周辺を歩きながら、ポイントごとにクイズや丸太切り等を行い森林を探検します。)
・クラフトづくり(木の実や枝を使った工作を行います。夏休みの宿題にも最適です!)
- 募集人員:小学3年生以上の親子10組(20名程度) **※応募者多数の場合は抽選となります。**
- 応募締切:令和2年7月24日(金) 必着 **※必ず往復はがきで応募ください。**
- 申込方法:往復はがきの往信面に、イベント名、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(必ずふりがなを入れてください)④年齢⑤確実に連絡のつく電話番号、返信面にお申込者の宛名をご記入の上、下記までご応募ください。**※切手代金に不足が生じないようにご確認願います。**
〒193-0844 八王子市高尾町2438-1
高尾森林ふれあい推進センター「親子森林探検とクラフトづくり」係
- 参加費(保険料):一人当たり300円
- 持ち物、服装:弁当・飲物・タオル・雨具等。山歩き可能な服装(帽子・長袖・長ズボン・軍手・運動靴等)をお願いします。
- その他:小雨決行(荒天中止) **中止の場合は7月31日(金) 17:00までに連絡をいたします。**
- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・感染防止対策として、マスクの着用(熱中症の恐れがある場合は着用しません)や手洗い消毒等をお願いします。
 - ・体調不良(発熱、咳など)の場合や、家族に感染が疑われる場合は参加を見合わせてください。
 - ・イベント終了後、2週間以内に感染症を発症した場合は速やかに連絡願います。
 - ・国内の感染状況等により、イベントを中止させて頂く場合があります。

お問合せは

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
(土日祝日を除く開庁日の8:30~17:15)

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

電話:050-3160-6040

FAX:042-663-7229

ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/>



探検の一コマ



クラフト

昨年度の様子

編集後記

高尾山は梅雨まっただ中。雨降りの合間などに、葉っぱの上の水滴を探してみるのも楽しいです。日光がうまく当たる場所では、輝く水玉が見られるかもしれません。

葉っぱの上で輝く水滴



Forest通信 NO.377

発行:林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

